

# 算数科 小学校 5年

## 単元名 体積

### 本時の流れ (第4時)

既習の学習の確認

本時の目標

L字型の立体の体積を工夫して考え、求める。

【めあて】

L字型の立体の体積を工夫して求めよう。

本時のめあての把握

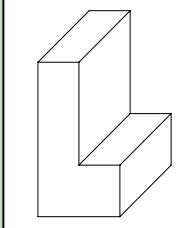
(実物を見せながら) L字型の立体の体積を求める。

自力解決する。

☆実際にL字型の模型を使って考えさせる。

☆L字型の模型を切ったり補ったりして、既習の立体に近づけさせる。

【問題】



解決の見通しを持たせる。

- ・ 分けて考えることができる。
- ・ 欠けている部分を補えばいい。

### 「活用」の力を育てる評価の工夫

本時は、「直方体や立方体の体積公式を活用して、簡単な複合図形の体積の求め方を工夫することができる」という、数学的な考え方が重視される学習である。そのためには、直方体や立方体の体積を確実に求められるようにしておかなければならない。そこで、直方体や立方体の体積を求める練習問題について慣れることと、直方体の体積を求める立式の際には、縦・横・高さを明らかにさせて立式させていく。また、体積公式を導く学習活動において、4年生で学習した面積を思い起こさせ、複合図形の面積の求め方を活用できるようにさせる。

自分の考えを発表する場面では、友達に説明をすることを通して、筋道を立てて説明することのよさに気付かせていく。

自分の考えを発表する。

集団解決し、まとめる。

どの考えでも、体積を求めることができることをまとめる。

【協議の視点】

☆上下・左右に分けて考える方法と、欠けた部分のあるものとして考える方法は、問題によって使い分けた方がよい。

☆上下・左右に分けることで、直方体や立方体に分けて考える。

☆欠けた部分のあるものとして考える。(☆底面積×高さで考える。)

学習のまとめ  
学びの振り返りを書く。

☆本時の学習で分かったことや初めて知ったことなどを、自分の言葉で書く。

[授業展開例へ](#)

[評価問題](#)

[単元の流れへ](#)

[HOME](#)